

2013年2月6日(水)発行 VOL35

発行者:「九条の会」事務局 ホームページアドレス:<http://www.mc.ccnw.ne.jp/kyujou/>



## みなと医療生協「九条の会」 九条ねっと

### 自民安倍政権の誕生で憲法九条は戦後最大の危機へ いまこそ学び、行動をおこすことを呼び掛けます

「国防軍」明記に意欲みせる。

先の衆議院選挙で自民党が政権与党に返り咲き、安倍政権が誕生しました。この政権はすでに破綻した経済政策を実行するとともに、他の政党と一緒に憲法改定に意欲をみせています。通常国会参議院での答弁でもい

よいよ「国防軍」明記発言をし、まずは憲法 96 条の改定を行うとしています。憲法九条改定を許さない世論を急いでこの地域で作らしましょう。また、そのための学習会を開催します。ごぞっとお越し下さい。

みなと医療生協「九条の会」主催

～自民党憲法草案の危険な中身を読む～

とき：2月26日(火)午後6時15分開始

講師：川口創さん(名古屋弁護士会、イラク自衛隊訴訟弁護団)

場所：レインボーセンター2階 第6会議室

#### シリーズ～自民党憲法草案を読む～

上記のように学習会も開催しますが、ここからはシリーズで自民党憲法草案を「九条ねっと」で解剖していきます。まず1回目は憲法草案の具体的な中身ではなく、大まかに何が書かれているのかを考えます。

#### ○国民主権から天皇中心の国家へ作りかえる

現憲法が人権保障のために権力側を制限することを目的に置いているのに対して、憲法草案では憲法は国民を「統治」することを目的にしている。

#### ○憲法前文を違和感があるとして破棄をする

戦争への反省、不戦平和の誓いをもつ前文を破棄し、代りに国民に国土防衛を求める規定を創設している。

#### ○9条2項の削除

憲法草案の最大の狙いが憲法9条2項です。アメリカからも必要に改定の圧力を受けています。戦争放棄を規定した9条1項は「基本的に変更しない」といいながら「自衛権の発動を妨げるものではない」と明記し、9条2項の交戦

権は「認めない」を削除し、「内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する」としています。さらには国防軍の国際活動、機密保持、審判所(軍法会議)、領土保全義務まで盛り込んでいます。

#### ○緊急事態法制(草案98条、99条)で人権停止、服従義務をさせられる (続く)



## 8周年年記念講演会を開催

みなと医療生協9条の会は8周年を迎え、昨年10月に記念講演会「原発はなくせる―憲法に基づき、原発に頼らない社会を―」(名城大学井内尚樹先生)を行いました。興味をもったのは、循環型・小規模分散型地域経済の実現とドイツの実践から学ぶという内容です。

### 循環型・小規模分散型の地域経済の実現

生産―流通―消費が地域内「循環」することで経済の活性化になる。ある自治体の木造仮設住宅は地元の木を使うので地元雇用が生まれた。間伐するので森が元気になり木造なので暖かく再利用できる。また電力を含め地産地消する「小規模分散型経済」が重要だ。過疎地立地の原発電力への都市依存がクローズアップされた。遠い地に電気を送る無駄と大型で長い送電線のコストがかかる。エネルギーは地域資源で自らが生産するものとして位置付ける必要がある。

### ドイツの実践から学ぶ

ドイツでは、原子力発電や化石燃料に頼らない自然エネルギー200%を超える地域が多数存在し、電気・熱エネルギー生産を地域の農家・森林業者・中小企業家が行う。風

地域の農家・森林業者・中小企業家が行う。

風力・太陽光・ミニ水力・地熱・チップボイラーは日本でもおなじみだが、その他にも糞尿バイオマスや搾乳熱交換は日本の酪農家でも出来る自然エネルギーだ。またエアコンやアルミサッシを使わない高气密・断熱材・自然熱交換器のある省エネ住宅の建築が盛んだ。ある地区の家庭の電気代1年分は日本の1か月分である。日本国民が、EU全土で義務化されているエネルギーパス(家の燃費を表示化する制度をクリアする低燃費住宅建築をどう変革して取り組むかが省エネ社会のカギとなる。

### 講演会参加者の感想

- ・エネルギーは今まで与えられるものと思っていました。
- ・原発反対デモに参加し自然エネルギーの推進を訴えていたが実態は知らなかった。
- ・原子力からの転換は今一番気になっている問題だった。
- ・医療生協の各施設の屋上に太陽光パネルを設置して欲しい。
- ・地元愛も原動力になると感じた。・生協なら取り組みそう。
- ・身近な話であり地産地消とエネルギー消費量削減を地道に意識したい。

### 東海地震発生の切迫性

12月にもM7.3の三陸沖地震があったように、度重なる余震での原発の配管損壊が心配されています。また今後30年以内に87%の確率でM8規模の東海地震が発生、浜岡原発沖の津波の高さは19メートル「想定」されています。浜岡原発地域は砂丘上にあり巨大地震で地盤は沈降隆起し、現在1000億円以上かけて建設中の厚さ2m×高さ18mの防潮堤は津波で容易に決壊してしまうことが、厚さ30mだった釜石スーパードームの決壊経験からもわかります。早急な浜岡原発廃炉と使用済核燃料の安全保管が望まれます。

### 自分自身の意見

日本国民自らが少しずつ自然エネルギー発電や節電に取り組みれば原発電力はいらなくなり化石燃料による発電も減らせると思っています。日本の豊かな自然資源を利用し地震大国に相応しい安全で効率的な電力の作り方を皆で考えて実践していきましょう。また、脱原発は、非核3原則をやぶる核保有をやめさせ平和憲法を守ることに繋がっていきます。

みなと医療生協九条の会 事務局

中村 博雄

### 憲法改定を許さない、あらゆる取り組みをすすめましょう

署名行動、対話行動、各種団体の宣伝行動、九条のグッズを広めるなど、あらゆる宣伝行動で九条を守りいかに世論作りが必要です。領土問題や海外でのテロ活動を口実に政権与党やマスコミは憲法改定への世論誘導をしますので、これに負けない宣伝が必要となります。この地域に憲法改定はいらないという世論をたくさん作り出しましょう。

